



Toyo University Volume 10 April 2026

# Supporters News

## サポーターズニュース

東洋大学  
寄付報告書  
第10号 2026年4月発行  
[www.toyo.ac.jp](http://www.toyo.ac.jp)



東洋大学

## 理事長挨拶

東洋大学のために皆様から日頃より頂いているご支援ご協力に感謝申し上げます。

本学は赤羽台キャンパスの開設に続く朝霞キャンパスの再編や大学院・学部・学科・各附属学校の改革を皆様のご支援をいただきながら実行して参りました。また、2027年度の環境イノベーション学部及び大学院環境イノベーション学研究所の開設に向けて川越キャンパスの整備を行っており、法人全体の教育・研究機能の強化に取り組んでおります。

昨今は世界的な政治経済情勢の激しい変化や地球温暖化等の環境の変化、止まることのない技術革新、ますます激しくなる海外を含めた大学間の激しい競争等に的確な対応が求められています。

私たちは未来ある学生と共に生き、彼らの未来に役立つことは何かを考えています。世の中の新しいニーズや学生のニーズに応えると同時に、変化に対応できる能力を磨き続けていける人材を輩出し続けられるよう、世界に目を広げ、同時に世界の目で日本を見ながら更なる改革を進めて参ります。

今後とも、東洋大学の取り組みにご理解、ご協力いただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。



学校法人東洋大学  
理事長 安齋 隆

## 学長挨拶

東洋大学の教育・研究活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

お陰様で、2025年度は大学選手権はもちろんのこと世界陸上・世界水泳等の世界大会をはじめとして、多くのスポーツにおいて学生たちの大活躍がありました。さらに、ウクライナからの学生及び研究員の受け入れや、能登半島への学生ボランティアの派遣など、社会的課題に向き合う活動にも温かなご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

本学では、昨年より「総合知教育」を展開しており、今年度からは授業期間を変更することで、海外留学やインターンシップ等の活動にも取り組みやすい環境を充実させています。また、2027年度の環境イノベーション学部設置(2026年4月現在、設置構想中)にむけた新校舎の建設により、川越キャンパスが生まれ変わります。「未来を哲学する、東洋大学」という言葉を柱に、創立150周年に向け、大学一丸となって未来を拓いてまいります。

現代のような不安定な時代を生きていくうえで拠り所となるのは、本学の建学の精神が意味する「哲学する」ことであろうと考えます。それぞれの人生を豊かに生き抜くための手がかりを学生たちが得られるように、多様な学びの場を提供し続けたいと思います。

そして、すべての学生がキャンパスライフを楽しみ、様々な学びと経験の先に、社会へ踏み出すための確実な力を身につけるための「総合知教育」を推し進めることが、私たちの責任となります。これからも、皆様に応援していただける大学であり続けるために努力してまいります。今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



東洋大学  
学長 矢口 悦子

### 1 過年度寄付金比較

[表1: 指定事業別] 金額:円

事業	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
①教育研究	408	40,571,000	771	66,653,772	726	34,130,143	795	35,096,512	981	25,653,000
②奨学事業	150	4,619,000	597	117,832,000	649	13,938,000	679	14,731,000	733	15,354,267
③課外活動	27	500,020	23	445,000	18	365,000	41	859,000	41	989,000
④施設設備	54	6,435,000	44	5,463,000	47	11,796,000	63	11,366,000	47	6,810,000
⑤用途指定	2,134	56,244,675	926	41,276,192	959	43,583,664	1,296	39,708,229	1,412	73,896,375
合計	2,773	108,369,695	2,361	231,669,964	2,399	103,812,807	2,874	101,760,741	3,214	122,702,642

※件数:1回の入金で複数の事業を指定した場合、件数も複数カウント

[表2: 対象者別] 金額:円

対象	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
卒業生	1,572	24,023,471	1,368	27,962,887	1,385	29,193,111	1,507	27,667,008	1,719	29,322,119
保証人(父母)	724	13,001,000	566	10,401,100	551	7,922,000	754	9,949,000	778	10,632,000
法人	100	42,244,532	90	67,360,215	88	41,700,602	98	42,699,150	101	56,083,530
団体	29	4,023,692	22	2,100,262	34	1,650,094	25	2,950,488	55	4,162,131
篤志家	62	850,000	104	7,018,500	97	3,151,000	297	3,372,095	302	4,295,266
役員・評議員	86	17,545,000	53	12,620,000	96	13,640,000	63	11,595,000	77	12,640,001
教職員	196	6,552,000	157	104,202,000	140	3,916,000	127	3,398,000	169	4,186,555
在学生	4	130,000	1	5,000	8	2,640,000	3	130,000	13	1,381,040
合計	2,773	108,369,695	2,361	231,669,964	2,399	103,812,807	2,874	101,760,741	3,214	122,702,642

※件数:1回の入金で複数の事業を指定した場合、件数も複数カウント ※団体:校友会、南水会、後援会、〇〇ゼミ有志などを計上

### 2 Team TOYO募金集計結果

[表3: 対象者別] 金額:円

対象	2025年度	
	件数	金額
卒業生	527	6,925,000
保証人(父母)	230	2,715,000
篤志家	40	540,000
役員・評議員	57	1,005,000
教職員	54	825,000
在学生	1	10,000
合計	909	12,020,000

※件数:1回の入金で複数の商品を選択した場合、件数も複数カウント

[表4: 商品ランキング(数量)]

順位	商品名	数量
1	東洋大学駅伝ティシャツ マスコットサイズ	49
2	東洋大学Tシャツ 1枚	41
2	広島牡蠣缶セット	41
4	手延そうめん 損保乃糸 14把	34
5	新巻きメジカ 鮭切り身6切れ	31
6	甘酒 700ml 2本セット	30
7	TUGS(タグス)Tシャツ 1枚	29
8	りんご酢(奥久慈のめくみど)ハチミツ入り2本セット	27
9	井上円了珈琲物語 2箱セット	26
10	函館五島軒レトルトカレー 8箱セット	25
10	みちこの有機ぼん酢 2本	25
10	クラフトジーンズ歌川と本格梅酒 500ml 2本セット	25

[表5: 商品ランキング(金額)] 金額:円

順位	商品名	金額
1	特選米 10kg	525,000
2	函館五島軒レトルトカレー 8箱セット	500,000
3	東洋大学駅伝ティシャツ マスコットサイズ	490,000
4	カップオン30/バックお楽しみセット	460,000
5	東洋大学Tシャツ 1枚	410,000
5	広島牡蠣缶セット	410,000
7	旬佳肴(しゅんかこう)加工品詰合せ	400,000
8	生餃子 20個・焼売 10個 セット	360,000
8	毛ガニ 2尾(ボイル)	360,000
10	手延そうめん 損保乃糸 14把	340,000
10	濃厚生チーズケーキ1592& ASO BATON	340,000

### 3 用途指定型詳細

[表6: 指定事業別 ⑤用途指定の内訳] 金額:円

支援事業	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
A.学部教育	542	8,680,535	290	5,513,500	276	5,634,000	428	7,421,000	415	7,460,000
B.大学院研究	49	1,890,000	26	450,610	24	4,015,000	26	1,395,000	28	831,000
C.外国人留学生	16	917,000	108	14,275,908	54	1,737,000	23	170,000	22	143,000
D.ボランティア・社会貢献	8	142,000	10	360,000	43	2,020,000	25	800,000	22	205,000
E.学生生活	1,043	18,894,831	86	1,733,831	61	1,628,831	49	738,831	44	1,439,831
F.強化指定運動部	356	22,641,309	378	18,672,343	435	27,686,833	637	27,613,398	656	59,880,273
G.研究・プロジェクト	6	470,000	3	120,000	5	240,000	3	250,000	2	40,000
H.図書館の充実	6	550,000	3	30,000	9	100,000	11	178,000	14	643,000
I.公認団体	108	2,059,000	22	120,000	52	522,000	94	1,142,000	209	3,254,271
合計	2,134	56,244,675	926	41,276,192	959	43,583,664	1,296	39,708,229	1,412	73,896,375

[表7: 指定事業別 ⑤用途指定のうち、F.強化指定運動部支援詳細] 金額:円

強化指定運動部	2024年度	2025年度
硬式野球部	1,893,000	3,105,000
陸上競技部(男子長距離)	11,157,526	38,735,655
陸上競技部(男子短距離)	599,000	1,813,530
陸上競技部(女子長距離)	2,527,777	1,873,888
アイススケート部(ホッケー)	150,000	1,074,000
アイススケート部(スピード)	0	20,000
アイススケート部(フィギュア)	10,000	240,000
レスリング部	745,000	425,000
空手道部	210,000	310,000
スキー部	10,000	20,000

  

強化指定運動部	2024年度	2025年度
相撲部	3,200,000	1,785,000
ボクシング部	1,503,000	2,124,000
サッカー部(男子)	1,955,095	2,110,000
サッカー部(女子)	1,250,000	3,519,700
水泳部	566,000	346,000
柔道部	110,000	110,000
ラグビー部	1,367,000	1,402,500
バスケットボール部	180,000	180,000
剣道部	60,000	60,000
卓球部(女子)	120,000	626,000

  

合計金額	2024年度	2025年度
合計金額	27,613,398	59,880,273

### 4 その他

[表8: クラウドファンディングの実施結果]

支援対象	金額:円
東洋大学応援指導部	1,852,000
件数	103
合計金額	1,852,000

[表9: Giving Campaignの実施結果] 金額:円

団体名	個人寄付		Alumnote寄付金	合計金額
	件数	金額		
サッカー部(女子)	24	135,000	83,700	218,700
アイススケート部(ホッケー)	14	115,000	3,000	118,000
卓球部(女子)	9	106,000	0	106,000
応援指導部	2	11,000	63,300	74,300
ボクシング部	3	30,000	0	30,000
東洋大学スポーツ新聞編集部	5	22,000	0	22,000
陸上競技部(男子短距離)	2	13,000	0	13,000
合計	59	432,000	150,000	582,000

実施期間  
2025年10月10日(金)～  
10月19日(日)

運営事業者  
株式会社Alumnote

悔しさを糧に、原点回帰と進化を。  
予選会から這い上がり、  
鉄紺の誇りを取り戻す。



陸上競技部(男子長距離部門)主将 薄根 大河さん 総合情報学部 総合情報学科3年  
陸上競技部(男子長距離部門)監督 酒井 俊幸



皆様の「全力の応援」を力に、  
約60名の部員と共に  
新たな伝統へ邁進する。



応援指導部 第45代主将兼リーダー部門長 山下 瑠南さん 【社会学部 国際社会学科3年】

「全力のエールに全力の応援をください!」プロジェクトとは

新入部員の急増に伴う応援グッズの購入や修理等のため、スポチュニティ株式会社と連携してクラウドファンディングを実施。今後とも温かいご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

目標金額(1次目標)1,000,000円 ▶ 寄付金額 1,852,000円

達成金額に応じて以下のものを購入  
100万円  
50万円  
・幹部ジャケット(リーダー部)  
・駅伝ユニフォーム(チャリリーダー部)  
・テナーサックス(楽器部)  
・学ラン(リーダー部)  
・TOYOボード(チャリリーダー部)  
・パーカッション(楽器部)

— まずは、陸上競技部男子長距離部門の2025年度の活動報告をお願いします。

**酒井** 2025年度は、全日本大学駅伝の予選会敗退、そして第102回箱根駅伝では総合14位という結果に終わり、20年間守り続けてきた箱根シード権を失うという、極めて厳しい一年となりました。近年の気候変動、特に猛暑への対応や、春先の感染症によるチームビルディングの遅れが響いたものと捉えています。また、他大学のレベルが飛躍的に向上する中、これまでの「当たり前」が通用しなくなっている現実を突きつけられました。伝統ある東洋大学として、この結果を深く受け止め、ゼロからの再出発を誓った年度でした。

**薄根** 箱根駅伝でのシード権喪失が決まった瞬間、頭が真っ白になり、言葉にできないほどの責任と悔しさを感じました。それは糧の重み、そして先輩方が築いてきた歴史の重さでもあります。しかし、いつまでも下を向いてはいられません。チーム内にはすでに「このままでは終われない」「チャレンジャーとして這い上がろう」という気概が生まれています。どん底を知った世代だからこそ見せられる強さがあると信じ、前を向いて日々の練習に取り組んでいます。

— 第103回箱根駅伝は、予選会からの挑戦となります。チーム再建に向け、どのような指導・心構えで臨んでいますか?

**酒井** 東洋大学の伝統でもある「その1秒をけずりだせ」という走りの原点に立ち返りつつ、高速化する現代駅伝に対応したフィジカルとメンタルの進化を追求します。予選会とは異なり、多人数での集団走や転倒リスクの回避、暑熱対策など独特の戦略が求められます。そのため、例年とは夏合宿のスケジュールや内容を根本から見直し、10月の予選会にピークを合わせる調整を行っています。「予選会通過は通過点」としつつも、まずは確実に勝ち切るためのタフさを養っていきます。

**薄根** 主将として、日頃から言葉以上に「姿勢」でチームを引っ張ることを心掛けています。まずは私自身が誰よりも泥臭く練習し、寮生活などの規律を重んじることで、チームの土台を作りたいという考えです。強い東洋大学は、競技面だけで

なく、生活面でも隙がありません。悔しさを知る我々新4年生が背中を見せ、下級生と共に一から鉄紺のプライドを取り戻すために予選会という荒波をチーム一丸となって乗り越え、必ず本戦への切符を掴み取ってみせます。

— 寄付による支援は、陸上競技部でどのように活用されていますか?

**酒井** 皆様からの温かいご寄付は、選手強化の根幹となる合宿費やコンディショニング維持に活用させていただいています。特に近年の猛暑下では、質の高い練習を行うために、より涼しい高地や寒冷地での長期合宿が不可欠となっており、その遠征費用として大切にに使わせていただいています。また、故障予防のための最新の治療器具や、日々のリカバリーを支える栄養補助食品の購入など、選手が万全の状態スタートラインに立つための大きな支えとなっており、心より感謝申し上げます。

— 支援者の方々に向けてのメッセージ、また今後の目標をお聞かせください。

**薄根** 厳しい結果にもかかわらず、変わらぬご声援をいただき本当にありがとうございます。皆様の温かい言葉が、折れかけた心を奮い立たせてくれました。2026年度の最大の目標は、予選会を確実に突破し、箱根駅伝で上位争いをする事です。シード権奪還はもちろん、上位争いに食い込む走りを見せることが、ご支援への一番の恩返しだと思っています。一走一歩に魂を込め、応援して下さる皆様と共に笑顔で大手町のゴールを迎えられるよう、覚悟を持って走り抜きます。

**酒井** シード権を落とした現実を真摯に受け止め、学生たちと共に一からチームを作り直しております。予選会からのスタートは険しい道のりですが、これを成長の機会と捉え、再び優勝争いのできる強豪・東洋大学へと復活させるための土台を築いてまいります。「鉄紺の逆襲」に向け、学生たちは必死にもがき、成長しようとしています。どうか長い目で、学生たちの挑戦を見守り、熱いご声援とご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
(取材日:2026年2月16日)

— 応援指導部主将への就任おめでとうございます。まずは新主将としての抱負をお聞かせください。

ありがとうございます。今年度、本部は新入部員の増加により、総勢約60名というかつてない大所帯となりました。リーダー部、チャリリーダー部、楽器部の3部体制で活動していますが、人数が増え、組織が大きくなった今だからこそ、改めて「東洋大学応援指導部」としての規律と誇りを大切にしたいと考えています。その上で、今年度のスローガンには「邁進(まいしん)」を掲げました。私自身、言葉で器用に引っ張るタイプではありませんが、だからこそ、誰よりも真摯に練習に向き合い、その姿勢と背中中部員を鼓舞していきたいです。私たちが全力で邁進する姿こそが、選手や観客の皆様へ届く「応援」の原点になると信じています。

— 日々の練習で大切にしていることは何ですか?

「練習こそが全て」という想いです。神宮球場や箱根駅伝といった華やかな舞台で輝くためには、地道で泥臭い練習が欠かせません。ただ楽しければいいのではなく、質の高いパフォーマンスを追求することこそが、戦っている選手への敬意であり、観て下さる方々への礼儀だと考えています。特に近年は部員が増えたことで、一体感を生み出す難しさもありますが、厳しい練習を共に乗り越えることで生まれる絆は本物です。学ランを着て声を張り上げるリーダーも、笑顔で舞うチャリリーダーも、音を奏でる楽器も、全員が「東洋大学の勝利」という一つの目標に向かって心一つにする。その熱量が観客席に伝播し、球場全体が一体となる瞬間こそが、応援指導部としての最大のやりがいです。

— 昨年実施されたクラウドファンディング『全力のエールに全力の応援をください!』プロジェクトには、大きな反響があったと伺いました。

結果として、初期目標を超える185%もの達成率でご支援をいただき、部員一同、大きな感動を覚えました。全国のOB・OGや保護者の皆様から届くのは、ご支援だけではなく、「いつも元気をもたらしているよ」「これからも頑張る」という温かいメッセージが数え切れないほど寄せられたのです。

また、返礼品を求めず、「純粋に活動を応援したい」と寄付をして下さる方も多くいらっしゃいました。私たち応援指導部は「応援する側」の存在ですが、実は私たち自身がこれほど多くの方々へ「応援されている」のだと肌で感じ、胸が熱くなりました。

— 寄せられた支援金はどのように活用されていますか?

最も大きく変わったのは応援体制です。以前は予算に限りがあり、応援に行けるのは選抜メンバーに限られていました。「行きたいのに行けない」という仲間がいることは、一部員として非常に心苦しいことでした。しかし、クラウドファンディングによっていただいた支援金を車両手配に充て、現在は希望する部員全員で応援へ駆けつけることが可能になりました。頑張る選手たちを全員で後押しできる喜びは、何物にも代えがたいものです。また、現在いただいている支援金は、備品購入にも充てております。具体的には、リーダー部の学ラン(ほつれ・破損・サイズ不備の改善)、チャリリーダー部のTOYOボード(破損対応)、楽器部における既存楽器のメンテナンスおよびパーカッションの購入等に活用しております。私たちがいわゆる「東洋大学の顔」として舞台上立っているのは、間違いなく皆様のご支援があつてこそです。

— 最後に、皆様へメッセージと、今後の抱負をお願いします。

日頃より温かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。皆様からいただくのは単なる活動資金ではなく、私たちの活動に対する「期待」と「信頼」だと受け止めています。その想いに応えるためにも、一切の妥協なく日々の活動に全力を注いでまいります。組織が大きくなっても、時代が変わっても、私たちが大切にしてきた「ひたむきさ」や「母校愛」は変わりません。「応援指導部の応援があるから、頑張れる」。選手や観客の皆様へそう言っていただけ存在であり続けるために、部員一同、感謝を胸に邁進してまいります。これからも、東洋大学応援指導部への変わりぬご指導ご鞭撻を、どうぞよろしくお願いいたします。  
(取材日:2026年2月27日)

### あえて「不自由」に飛び込み 世界に貢献できる自分へ



**青山 詩彩**さん [国際学部 国際地域学科 4年]  
 留学期間: 2024年9月～2025年1月  
 留学先: ブダペスト・メトロポリタン大学(ハンガリー)

当初は理系分野への進学も考えていた私にとって、文理の枠を超えて多角的に学べる東洋大学の環境は入学当初から大きな魅力でした。その上で「自力での留学」を実現するため、グローバルリーダー型奨学金の受給を目標に設定。要件であるGPAの高い基準を維持し続けることは決して容易ではありませんでしたが、毎学期学期間に向き合い続けた過程こそが、今の私の確固たる自信と誇りの源泉となっています。

留学先に選んだのは、マレーシアにある英国の名門、ノッティンガム大学の分校です。英国本校と同等の高水準な教育環境、そしてマレー系・中華系・インド系などの多様な属性が融合する現地では、お祈りの時間を考慮して会議の時間を調整するなど、他者への深い配慮が日常の当たり前として存在しています。この「違いを尊重し合う文化」を肌で感じたことは、日本国内における外国籍生徒の言語習得問題など、教育現場におけるセーフティネットの欠如という課題を多文化共生の視点から捉え直す大きな契機となりました。

現在は、現地の教育学部に模擬授業に挑戦するなど、より実践的な学びに注力しています。帰国後は大学院へ進学し、将来は公務員として働くことも視野に入れて考えています。資金面の不安なく学業に専念できる安心感が、私の挑戦をどれほど力強く支えてくれたか計り知れません。寄付者の皆様から託していただいたこの大切な「投資」を、日本の未来をより良くするという形で還元できるよう、残りの留学生活も全力で邁進してまいります。

(取材日: 2026年2月24日)

「誰も自分を知らない環境で、どこまで通用するか試したい」。私の留学の原動力は、そんな渴望でもありました。高校時代の留学で、電子機器や日本語を制限された過酷な環境から得た「自律心」を、大学でも一度呼び起こしたいと考えたのです。経済的な制約がある中で、学費を抑えられるイブニングコース(第2部)を選び、入学前からグローバルリーダー型奨学金の受給を目標に定めていたのも、自分の力で道を切り拓くための戦略的な選択でした。

留学先に選んだハンガリーは、英語が通じない場面も多い未知の環境でした。しかし、言葉の壁をポジティブな姿勢で乗り越えていく中で、どんな場所でも心を通わせられるという確信を得ることができました。また、奨学金による経済的な支えがあったからこそ、現地でのホームレス支援ボランティアや、エジプトへ足を伸ばして児童労働の現状を目撃するなど、世界の現実を肌で感じる貴重な機会を逃さずに済みました。こうした経験は私の人生観を大きく変え、「世界の困っている人の力になりたい」という漠然とした想いが、明確な「使命」へと変わったのです。

帰国後は、学生組織TGSの代表として留学生向けの交流の輪を広げる活動にも尽力したほか、2027年からはJICA海外協力隊としてマダガスカルへ派遣されることも決定しました。この奨学金制度がなければ、私は東洋大学を選ぶことも、この進路に辿り着くこともできなかったはず。チャンスをくださった寄付者の皆様への感謝を胸に、次は私が世界の現場で、誰かの可能性を広げられる人間になれるよう努力を続けてまいります。

(取材日: 2026年2月17日)

### 「多文化共生」の現場で見つけた 日本の教育を変える新たな視座



**松本 悦幸**さん [国際観光学部 国際観光学科 3年]  
 留学期間: 2025年9月～2026年5月(予定)  
 留学先: ノッティンガム大学(マレーシア校)

## 2025年度「感謝の集い」を開催いたしました。

2026年3月16日(月)、白山キャンパスで多大なご支援をしてくださった皆様をお招きし『感謝の集い』を開催いたしました。当日は17:30より125記念ホールで感謝状及び記念品の贈呈、18:30より8号館地下1階食堂で懇親会を実施いたしました。

懇親会では理事長挨拶、法人・教学役員紹介、学長挨拶の後、強化指定運動部の監督・コーチ・主将から日頃のご支援に対する感謝の意をお伝えさせていただきました。また、3月19日から選抜高校野球大会に出場する東洋大学附属姫路高校の上田校長から「選抜に向けてご支援ご声援をお願いしたい」と力強い挨拶がありました。

### 顕彰・感謝状贈呈対象 (2025年1月1日～12月31日)

- 顕彰  
 栄誉学賞2名 名誉学賞1名  
 貢献学賞4名
- 感謝状・記念品贈呈  
 個人18名 法人21名



# つなぐ・つながる『チーム 東洋』 Team TOYO 募金報告書 2026



2022年4月からスタートしたTeam TOYO募金は、4年が経過しております。

これまでに多くの卒業生や保護者、篤志家の皆様のご支援をいただきご協力いただく卒業生オーナー企業は、初年度15社・2年目19社・3年目23社、4年目24社、5年目となる2026年は25社と卒業生の輪を少しずつ広げさせていただいております。人気の返礼品も多数揃えておりますのでご参考にしていただきお申込みください。

ご協力いただいた皆様方に深く感謝申し上げます。  
 卒業生、保護者、卒業生オーナー、大学関係者をつなぐ輪は、強く太く繋がりが広がっています。

## 卒業生オーナーのご紹介 母校愛あふれる全国各地の皆様へ



**株式会社 阪東食品**



### 株式会社 阪東食品

代表取締役 **阪東 高英**さん [工学部情報工学科 1991年卒]

大学を卒業後、OA機器販売メーカー、輸入車ディーラーに勤務。2007年に家業の阪東食品に入社、代表取締役となり、ゆこう・ゆず・すだち等の製造加工販売をしています。現在、20か国以上に販路を拡大し、徳島から世界へ上質な香酸柑橘類の生産農家として県内では初めて海外輸出を成功させたパイオニア。様々な経験を通して、現在世界を股にかけて活躍中です。世界的に評価されている商品が並んでいます。

TT募金の話を大学からいただいた時から、卒業生として、返礼品提供で少しでも東洋大学・在校生・卒業生にご協力できればと考えておりました。リピーターも多く、一同感謝しております。皆様からの温かいご支援を通じて東洋大学がさらに飛躍していくことを願っています。

徳島県



### 山上佐藤水産有限会社

代表取締役社長 **佐藤 秀之**さん [工学部電気工学科 1987年卒]

大学を卒業後、電気関係の企業に就職し、学生時代とあわせて9年間を川越で過ごした後、オホーツク海沿岸に面し、漁獲量日本一の毛ガニをはじめ、ホタテ、鮭、タコなどの多彩で豊富な水産物が水揚げされる地元・枝幸町に戻り、家業の海産加工・冷蔵保管業を継承。ここで水揚げされた旬の魚介類を鮮度の良いまま加工して皆様にお届けしています。

TT募金を始めて、全国各地の卒業生・保護者から注文をいただき、人の縁を感じています。大学との繋がりと例えば、学生時代にアイスホッケー観戦にはまっていたことから、今でも運動部の活躍を楽しみにしていて、野球や陸上、ラグビーなどの試合で東洋大学の名前が挙がるたびに、ワクワクしています。皆様と共に故郷枝幸から母校を全力で応援していきます。がんばれ東洋大学!!

北海道

# SPORTS NEWS

強化指定運動部報告

## アイススケート部(ホッケー部門)

## ICE HOCKEY

リーグ戦で連覇を達成、「日本一応援されるチーム」を目指して。



いつもたくさんのご支援とご声援をいただきまして、誠にありがとうございます。アイススケート部ホッケー部門の2025年度の戦績としましては、5月6日に行われた秩父宮杯 第72回関東大学アイスホッケー選手権大会で3位。そして9～11月に行われたエイワ杯 2025年度関東大学アイスホッケーリーグ戦では優勝し連覇を達成。しかし、12月末に行われた第98回日本学生氷上競技選手権大会 アイスホッケー競技会では惜しくも大会優勝校に敗戦し、ベスト8で大会を終えました。部員一同次年度での更なる活躍に向け、懸命に練習に励んでおります。

私たちは「国内外で活躍する社会人になる」「大学界・日本を代表する選手になる」「日本一の運動部になる」をチームビジョンに掲げ、「応援されるチーム」「憧れを持ってもらえるチーム」を目指して、日々努力を重ねております。皆様からいただいたご寄付は、選手の防具購入、北海道夏合宿の補助等に使用させていただきました。おかげさまでリーグ戦で連覇を達成するなど、良い結果を残すことができました。2026年度は更に成長・進化するために選手一同、努力を重ねて参ります。今後とも、温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

## 水泳部

## SWIMMING

ロサンゼルス五輪で躍動するスイマーを、東洋から世界へ。



日頃より水泳部の活動に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。水泳部の2025年度の戦績としましては、シンガポールで開催された世界水泳選手権2025において、松下知之が男子400m個人メドレーで銀メダルを獲得し、200m同種目でも入賞。西川我咲は400m個人メドレー4位、牧野航介は200m個人メドレー8位。竹原秀一も200m背泳ぎに出場し、国際舞台で存在感を示しました。また、日本学生選手権では、松下知之、竹原秀一の個人種目2冠を筆頭に個人、団体種目でも着実に入賞を重ね、男子総合4位と過去最高順位となりました。

皆様からいただいたご寄付は、日本学生選手権に向けた強化合宿や日本学生選手権、また日本代表選考会に向けた海外合宿への補助に活用させていただきました。世界水泳および日本学生選手権において成果を取ることができましたのも、ひとえに皆様の温かいご声援の賜物と心より感謝申し上げます。2028年ロサンゼルスオリンピックでの金メダル獲得を大きな目標に掲げ、本年度は日本学生選手権において男子総合2位の獲得、ならびに女子のシード権奪還を必達目標として、部員一同、覚悟をもって競技力向上に邁進してまいります。

## 東洋大学教育・研究協力資金募金 寄付者芳名録

東洋大学教育・研究協力資金募金にご協力いただきありがとうございます。  
芳名録は、東洋大学寄付サイト>芳名録ページにて公開しております。(毎月更新)  
下記URL又はQRコードから東洋大学寄付サイトをご覧ください。

**URL** <https://kifu.toyo.ac.jp/privilege/name/>

